



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2018年6月①号

<議会報告>

◆生活保護基準の引き下げは中止し、2013年以前の基準に戻すべき。

健康で文化的な暮らしを保障する制度が生活保護ですが、最低限度の基準をどんどんと切り下げているのが今の政府です。生活保護受給者の皆さんは、食費を切り詰め、暑くても寒くても極力冷暖房も付けず、冠婚葬祭や地域の行事も控えておられます。明らかに健康で文化的な生活が阻害されています。

さらに、生活保護を受給しておられる方は、必要な方の25%程度にすぎないことも厚労省の調査でも明らかになっています。生活保護の基準を下げるのではなく、受けられやすい制度に改善すべきなのです。本来は安心して暮らせる年金制度に改善すべきなのです。



京都市会に京都社会福祉士会や介護福祉士会、精神保健福祉士会などの専門職種の団体から生活保護基準の引き下げに反対する内容の陳情が出され、議論しました。福祉職の専門家からの意見として重く受け止めるべきだと質疑しました。

閉会本会議で『生活保護基準の引き下げに反対し、2013年度の基準に戻すことを求める意見書案』を日本共産党市会議員団から提案し、採択はされなかったけれど、国民みらい市会議員団(元民進)が賛成したことを述べました。野党共闘が国政で進む中、京都でも共闘の動きが始まっています。

生活保護の基準は生活保護を受けている方の問題だけでなく、他の福祉の制度にも連動する基準なので、社会保障全般を引き上げるためにも10月からの引下げに反対する運動や議会での論戦に引き続き取り組みます。

◆子どもの医療費支給制度拡充を求める決議が採択

子どもの医療費の拡充は切実な市民の願いです。今回、京都市会として、支給制度の拡充を求める決議が上がりました。実施を求める市長の公約でもありますが、日本共産党市議団は、2019年度ではなく、実施を早めるように迫りました。

次々、出される京都市政への要望… 議会報告会

鷹峯地域で議会報告に浜田府議と参加しました。京都市会5月議会で、18人の議席がある第2党の共産党ではなく、11人の公明党の議員が副議長に選ばれたことには怒りの声が続出しました。

盛り上がったのは鷹峯も観光客がよく訪れる地域で、市バスが観光客でいっぱい乗れなかったことがあること、外国人が地域で住んでいて、国際的なお付き合いが鷹峯で始まっていること、しかし、ゴミの出し方など文化の違いで苦労しているとのことでした。外国語バージョンのゴミの出し方のパンフがあるのでご紹介したいと思います。

介護保険を利用し始めた人は今後の負担の増大が心配とのこと、敬老乗車証を使い始めた方からはとても助かっている

と制度の改悪は絶対困るとたくさんの方の要望が出されました。願いを議会に届け頑張ります。



つばき：京都市消防団査閲で北区報徳分団が優勝！

消防学校で開催された京都市11区の消防団の査閲が行われ、応援に行ってきました。査閲は通常の整列や行進などの点検と小型ポンプを使用した操法の訓練があり、正確さや時間内での作業が競われます。

前日の練習にも激励に行きましたが、最後までとても、綿密に訓練されており、その努力の賜物だと思います。ご苦労様でした。



鳳徳消防分団



京都市や議会には市民の皆さんから、切実な要望がたくさん寄せられます。京都市は財政難を理由に冷たい回答が多い状況にありますが、5月の議会では、骨髄移植手術等により免疫を喪失した子どもへのワクチン接種費用の助成制度と、養護施設等の退所者が大学等へ進学した場合の奨学金制度ができました。まだまだ不十分ですが、一歩前進だと思えます。本来は国がもっと、子どもへの施策を充実すべきだと思います。そうしないと、自治体の財政状況によって、支援に差ができて、公平な状況が生まれません。しかし、今の安倍自公政権のもとで、社会保障の後退は急降下していると言わざを得ず、こういう時にこそ、自治体としてどこまで独自に踏ん張るかが問われます。今後、子どもの医療費支給制度の拡充や全員制の中学校給食など、実現に向けて頑張りますよ！

一歩前進！
京都市独自の施策

アムテナ

